

# 定例記者会見資料



○日 時	平成26年8月8日(金) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<b>【3キャンパス共通】</b> ・「島根県災害ボランティア隊」への学生の参加について……………〔資料1〕 <b>【浜田キャンパス】</b> ・内閣府青年国際交流事業派遣者の決定及び壮行会の開催について……………〔資料2〕 <b>【出雲キャンパス】</b> ・出雲市総合防災訓練における学生の演習参加(ボランティア)について……………〔資料3〕
○資料提供項目	<b>【3キャンパス共通】</b> ・平成25年度 地(知)の拠点整備事業成果報告書について……………〔資料4〕 ・平成26年度秋学期(後期)科目等履修生・聴講生の募集について……………〔資料5〕 <b>【浜田キャンパス】</b> ・寧夏大学外国語学院日本語学科訪問団の来学について……………〔資料6〕 ・平成27年度総合政策学部入学者選抜自己推薦入試(総合評価型)の実施について……………〔資料7〕 ・平成27年度大学院入学生の募集について……………〔資料8〕
○行事予定	<b>【出雲キャンパス】</b> ・オープンキャンパス(本年度第1回目)……………8月16日(土)

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。  
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200  
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200  
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525



※次回の定例記者会見は 平成26年9月10日(水) 13:30から開催予定です。

マスコットキャラクター「オロリン」です。

平成 26 年 8 月 8 日  
公立大学法人島根県立大学  
担当：地域連携課 竹口  
電話：0855-24-2396

## 「島根県災害ボランティア隊」への学生の参加について

学生ボランティアによる岩手県被災地での復興支援プロジェクト「いわて GINGA-NET プロジェクト 夏銀河 2014」の募集が行われました。島根県社会福祉協議会では「島根県災害ボランティア隊」を編成し、被災地への派遣を行っています。

このボランティア隊には、本学学生も参加を予定しており、その参加状況及び活動内容については、以下のとおりとなっています。

### 1. 参加学生

8名（浜田キャンパス：1名、出雲キャンパス：6名、松江キャンパス：1名）

※県内参加者合計：12名（本学8名＋島根大学4名）

### 2. 活動地域

岩手県内の被災地（大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市他）

### 3. 活動内容

- ・マチの復興を描く活動
- ・子どもの夢を応援する活動
- ・復興支援活動
- ・仲間に出逢う活動

### 4. 日程

平成 26 年 8 月 26 日（火）～ 9 月 9 日（火）

### 5. その他

島根県社会福祉協議会募集の「島根県災害ボランティア隊」については、別添資料を参考にしてください。



# 東日本大震災「島根県災害ボランティア隊」募集要項

## 1 趣 旨

島根県社会福祉協議会（以下「本会」といいます。）では、東日本大震災発災後33回にわたり「島根県災害ボランティア隊」を編成し延べ799名の県民を宮城県及び岩手県内の被災市町へ派遣してきました。

被災地では、今なお多くの方が応急仮設住宅での生活を余儀なくされるなど、長期にわたる様々なボランティア支援が求められています。

一方、県内では、この大災害に対して力になりたいという大学生等が数多くおり、大学等も夏季休暇に向けて、学生のボランティア活動を支援しようという機運が高まっています。

こうした被災地の要支援ニーズと大学生等のボランティアニーズをつなぐため、「いわてGINGA-NET※」との連携のもと、県内に居住する大学生等によるボランティア隊を編成し、岩手県内の被災市町に派遣します。

### ※「いわてGINGA-NET」

○平成23年11月に岩手県立大学の学生有志を中心に発足したNPOで「学生による沿岸部への継続的な支援」をめざして活動を開始した。

○岩手県内の市町社会福祉協議会との連携のもとに集約した現地ボランティアニーズから、学生にふさわしいボランティア活動を提供する。

## 2 活動地域

岩手県沿岸部（釜石市、大槌町、大船渡市、陸前高田市 他）

## 3 活動期間・行程

平成26年8月26日（火）～ 9月9日（火）

8月26日（火）	15:00	浜田市内発	～大型バスで移動（車中泊）～
	17:00	（経由）	出雲市内発
	18:00	（経由）	松江市内発
8月27日（水）	13:00	岩手県住田町（GINGA-NET住田基地）	着
	13:00～13:30	オリエンテーション	（施設利用・日程説明）
	13:30～20:00	沿岸部視察、活動地域下見	
	20:00～	オリエンテーション	（翌日の活動準備等）
8月28日（木）	8:30～16:00	ボランティア活動	
	16:00～19:30	宿舎へ移動	（入浴施設・コンビニ）
	19:30～	宿舎着	（食事・活動の振り返り・翌日の活動準備等）
8月29日（金）			
		いわてGINGA-NETが準備したボランティア活動	
9月 7日（日）			
9月 8日（月）	9:00～11:00	期間中の活動振り返り・まとめ	
	12:00～	住田町出発	～大型バスで移動（車中泊）～
9月 9日（火）	6:00	（経由）	松江市内着
	7:00	（経由）	出雲市内着
	9:00		浜田市内着

\*行程は変更になる場合があります。

## 4 活動内容

- (1) マチの復興を描く活動（地域の魅力を知る、沿岸商店街との協働企画、漁業支援等）
- (2) 子どもの夢を応援する活動（遊び企画、小中学生等を対象とした学習支援等）
- (3) 復興支援活動（仮設住宅団地でのお茶っこサロン、自治会イベント支援等）
- (4) 仲間に出逢う活動（岩手県の学生との交流、ネットワークづくり）

※長期の活動になることから、体調が悪い方、体力に自信のない方はお申し込みをお控え下さい。

## 5 募集人員【島根県に在住する大学生又は専門学校生】

20名

※原則として参加申込順とします。

※希望者多数の場合は調整をさせていただきます。

## 6 参加費

20,000円（いわてGINGA-NETの正会員及び賛助会員の方は18,000円）  
[上記代金に含まれるもの]

○入浴代：8月27日から9月7日まで12日分

○宿泊費：8月27日から9月7日まで12泊分

○いわてGINGA-NET賛助会費(2,000円)

※食事は3食とも各自で調達（スーパー又はコンビニで食材を購入）

## 7 服装・持参品

[持参いただきたいもの]

- ・着替え1週間分程度（定期的にコインランドリーで洗濯可）・宿泊施設で着る着替え
- ・長袖など羽織れるもの（夜間は涼しいので上に羽織れるものを1枚程度持参）
- ・寝袋（寝具類は各自でご持参ください）・タオル、バスタオル、衛生用品、風呂用品
- ・リュックサックなど活動日に移動する際のバッグ ・ノート、ペンなどの筆記用具
- ・ハンガー、洗濯バサミ（タオル、バスタオル類を干す用）・懐中電灯 ・雨具（傘、カップ等）
- ・水筒 ・マスク（被災地での粉塵対策用。コンビニで手に入るもので可）
- ・電源タップ（携帯電話等の充電の場合） ・健康保険証

[その他（個々人で必要であれば）]

- ・貴重品を身に着けるための、小さなウェストポーチやポシェットなど
- ・軽食（現地到着後に食事は支給されますが、お好きな嗜好品など）
- ・常備薬（基本的なものは、GINGA-NET側で用意されています）
- ・暑さ対策品（冷えるマフラーや塩分+カリウム、保冷水筒等）
- ・まくら（必要であれば） ・耳栓（就寝時に音が気になる方）
- ・日焼けが気になる方は、日焼け対策 ・帽子等
- ・ビタミン、サプリなど（必要であれば）

[ご持参いただかなくてよいもの]

- ・長靴 ・軍手、ゴム手袋 ・ゴーグル
- ※泥かきや家屋整理の活動はしませんので、長靴などは不要です。

## 8 保険加入

参加者には、ボランティア活動保険に加入していただきます。保険加入料は本会で負担します。

## 9 留意事項

- (1) 現地の受入方針の変更等により、派遣を中止する場合があります。
- (2) 自己責任・自己完結を原則とし、被災地に負担をかけないようにするとともに、被災された方の心情に配慮した言動、行動に心がけてください。
- (3) 雨天等の関係で、やむを得ず活動が中止になる場合があります。
- (4) 初日と最終日は、バスの中で車中泊となります。移動中の食事は、高速道路のサービスエリアが利用できます。

## 10 宿泊施設等

宿泊場所：五葉地区公民館（〒029-2501 岩手県気仙郡住田町上有住字中塚63）  
入浴施設：五葉公民館近隣の施設を利用する。

## 11 参加申込み、問い合わせ先

別紙参加申込書に必要事項を明記の上、郵送、電子メール又はファクシミリでお申し込みください。

<申込期限> 平成26年7月18日（金）※申込用紙必着

社会福祉法人島根県社会福祉協議会（島根県ボランティア活動振興センター） 〒690-0011 島根県松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根 （電話）0852-32-5955 （FAX）0852-32-5982 *電話での対応は、土日祝を除く午前8時30分から午後5時まで （メール）voc@fukushi-shimane.or.jp
---

平成 26 年 8 月 8 日  
島根県立大学 浜田キャンパス  
担当：国際交流課 大畑直子  
電話：0855-25-9063

## 平成 26 年度 内閣府青年国際交流事業 派遣者の決定及び壮行会の開催について

島根県立大学では、グローバル社会に対応した人材育成を目的に、積極的に海外派遣事業に参加する学生の支援に取り組んでいます。

内閣府が行う青年国際交流事業は、日本と世界各国の青年の交流を通して、国際化の進む社会で活躍できる青年の育成を目的に、昭和 30 年代から実施されていますが、本学はこの事業に参加する学生の支援を、平成 23 年度より行っています。

この度、都道府県の間選考、内閣府（東京）において第 2 次選考、最終選考を経て、本学より 2 名の学生の派遣が決定しました。

つきましては、壮行会および奨学金の授与を行います。

### 記

#### 1. 日時／会場

平成 26 年 8 月 28 日（木）13:30~14:00／特別応接室（本部棟 2 階）

#### 2. 対象学生（2 名）

- ① 国際青年育成事業（ドミニカ共和国）【9 月 6 日～9 月 23 日 18 日間】  
4 年生 小牧 良輔（こまき りょうすけ）総合政策学部（浜田キャンパス）
- ② 日本・韓国青年親善交流事業【9 月 11 日～9 月 25 日 15 日間】  
4 年生 木幡 俊宏（こわた としひろ）総合政策学部（浜田キャンパス）

#### 3. 内 容

- ① 学長から激励の言葉
- ② 奨学金授与
- ③ 参加学生の決意表明

以上

# 平成26年度 内閣府青年国際交流事業の概要

内閣府が行う青年国際交流事業は、日本と世界各国の青年の交流を通して、国際化の進む社会の各分野で活躍できる青年の育成と各国との相互理解と友好の促進を目的としています。

## 1 国際青年育成交流

ドミニカ共和国、エストニア、ラオスの各国にそれぞれ14人の日本青年を18日間派遣します。訪問国では、現地青年との双方の社会事情に関するディスカッション、日本文化の紹介、国際協力活動の体験、教育・環境・文化等の課題別の視察、ホームステイなどを行います。また、帰国後の国際青年交流会議では、日本に招へいた外国青年と共に地球規模の諸問題等についてのディスカッションを合宿形式で行います。交流はすべて英語で行います。



## 2 日本・韓国青年親善交流

韓国に25人の日本青年を15日間派遣します。現地では、現地青年との双方の社会事情に関するディスカッション、文化・スポーツ交流、教育・文化・福祉・産業等の各種施設の訪問、ホームステイなどを行います。



## 3 東南アジア青年の船

日本青年約40人とASEAN10か国の青年約280人が、49日間、日本国内活動、船中のASEAN各国の訪問、各寄港地での様々な交流活動を行います。船内では、異文化理解・環境・教育等のテーマについての英語によるディスカッションをメインのプログラムとするほか、各国の社会事情の紹介、文化・スポーツ交流などを行います。



## 4 グローバルユースリーダー育成プログラム

急速に進展するグローバル社会の各分野で活躍できる青年リーダーを育成するため、日本青年110人が10か国の青年100人と共に日本国内及び船内で研修(船上研修・船上研修)を実施します。また、日本青年は船上研修後、ディスカッションのテーマに応じて5か国のうち1か国を訪問します(海外研修)。交流はすべて英語で行います。



## 5 青年社会活動コアリーダー育成プログラム

高齢者関連、障害者関連、青少年関連分野の社会活動に携わる日本青年(各分野8人)を、デンマーク(高齢者)、ニュージーランド(障害者)、ドイツ(青少年)の各国に10日間派遣し、各分野の社会活動で中心的担い手となる人材を育成します。訪問国では、関係機関や施設等の訪問、派遣分野の背景事情や社会活動に関する先進的な取り組みなどを学びます。

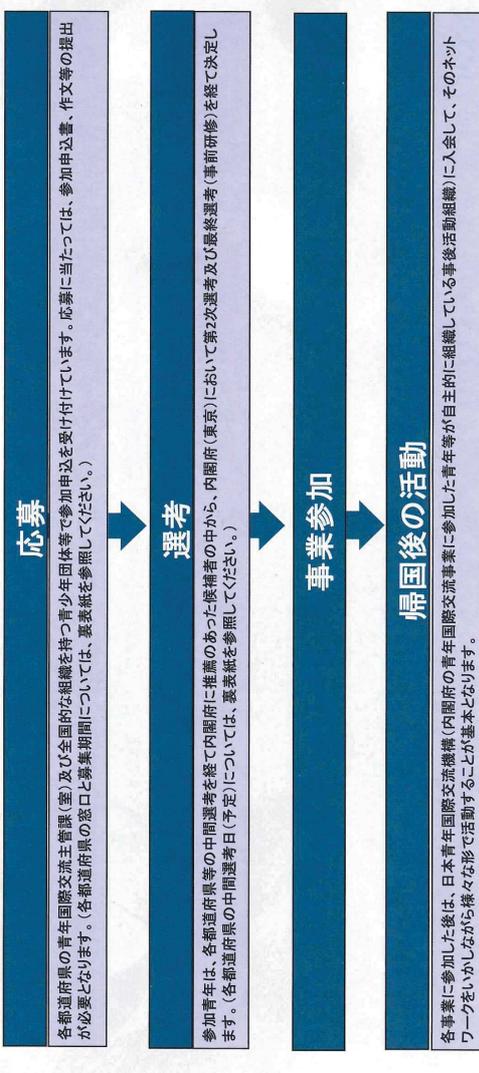


## <事業内容/応募資格>

事業名	国際青年育成交流	日本・韓国青年親善交流	東南アジア青年の船	グローバルユースリーダー育成事業 (コアリーダー育成プログラム)	青年社会活動 コアリーダー 育成プログラム
訪問国	ドミニカ共和国 エストニア ラオス	韓国	ブルネイ、カンボジア、 ミャンマー、インドネシア (ASEAN10か国の青年約280人と共に船 内などで共同生活をしながら各寄港訪問)	デンマーク、ニュージーランド ドイツ(青少年関連活動)	デンマーク(高齢者関連活動) ニュージーランド(障害者関連活動) ドイツ(青少年関連活動)
実施時期 (期間)	9月6日～9月23日 18日間	9月11日～9月25日 15日間	10月30日～12月17日 日本国内活動8日間、運航41日間	平成27年1月28日～2月21日 *1 陸上研修7日間、船上研修12日間、 海外研修8日間	10月12日～10月21日 10日間
募集人員	各国14人(計42人)	25人	39人	110人	各国8人(計24人)
国籍	日本	日本	日本	日本	日本
年齢 (申込時)	18歳～30歳 (昭和58年4月2日～平成8年4月1日生まれ)	18歳～30歳 (昭和58年4月2日～平成8年4月1日生まれ)	18歳～30歳 (昭和58年4月2日～平成8年4月1日生まれ)	23歳～40歳 (昭和48年4月2日～ 平成8年4月1日生まれ)	23歳～40歳 (昭和48年4月2日～ 平成8年4月1日生まれ)
事後活動	帰国後も事後活動組織に入会し、国際交流活動、青少年活動等の社会活動を活動を行うことができる	帰国後も事後活動組織に入会し、国際交流活動、青少年活動等の社会活動を活動を行うことができる	帰国後も事後活動組織に入会し、国際交流活動、青少年活動等の社会活動を活動を行うことができる	帰国後も事後活動組織に入会し、国際交流活動、青少年活動等の社会活動を活動を行うことができる	帰国後も事後活動組織に入会し、国際交流活動、青少年活動等の社会活動を活動を行うことができる
語学力 など	特になし (ただし、韓国語による簡単な日常会話能力が求められる)	特になし (ただし、韓国語による簡単な日常会話能力が求められる)	特になし (ただし、韓国語による簡単な日常会話能力が求められる)	特になし (ただし、韓国語による簡単な日常会話能力が求められる)	特になし (ただし、韓国語による簡単な日常会話能力が求められる)
その他	内閣府の青年国際交流事業にかつて参加したことのある者は応募不可。	内閣府の青年国際交流事業にかつて参加したことのある者は応募不可。	内閣府の青年国際交流事業にかつて参加したことのある者は応募不可。	内閣府の青年国際交流事業にかつて参加したことのある者は応募不可。	内閣府の青年国際交流事業にかつて参加したことのある者は応募不可。
事前 <sup>※2</sup>	7月7日～7月12日	8月2日～8月7日	9月13日～9月18日	9月13日～9月18日	6月20日～6月22日
出発前	9月4日～9月5日	9月9日～9月10日	10月25日～10月29日	平成27年1月24日～1月25日	10月10日～10月11日
帰国後	9月24日～9月28日	9月26日～9月28日	12月18日～12月19日	平成27年2月22日～2月23日	10月22日～10月23日
参加費 <sup>※3</sup>	17万円程度	8万円程度	30万円程度	21万円程度	10万円程度
事後活動組織 入会費	9万円	9万円	9万円	9万円	9万円
応募期間	各都道府県の青年国際交流主管課(室)又は全国的組織を持つ青少年団体等(参加申込書、作文等を提出すること。)	各都道府県の青年国際交流主管課(室)又は全国的組織を持つ青少年団体等(参加申込書、作文等を提出すること。)	各都道府県の青年国際交流主管課(室)又は全国的組織を持つ青少年団体等(参加申込書、作文等を提出すること。)	各都道府県の青年国際交流主管課(室)又は全国的組織を持つ青少年団体等(参加申込書、作文等を提出すること。)	各都道府県の青年国際交流主管課(室)又は全国的組織を持つ青少年団体等(参加申込書、作文等を提出すること。)
募集窓口	おおむね2月～9月中の予定(各都道府県を窓口とする募集の期間については、募集県の都道府県連係先一覧を参照。)	おおむね2月～9月中の予定(各都道府県を窓口とする募集の期間については、募集県の都道府県連係先一覧を参照。)	おおむね2月～9月中の予定(各都道府県を窓口とする募集の期間については、募集県の都道府県連係先一覧を参照。)	おおむね2月～9月中の予定(各都道府県を窓口とする募集の期間については、募集県の都道府県連係先一覧を参照。)	おおむね2月～9月中の予定(各都道府県を窓口とする募集の期間については、募集県の都道府県連係先一覧を参照。)

\*1 構想期間の他、代表者については「国際防災世界会議」(平成27年3月14日～18日 於仙台市)に参加し、関連する研修を受けることができます。  
 \*2 事前研修は、最終選考を兼ねます。  
 \*3 その他、選考にかかる費用や事前研修参加時の上京・帰国旅費、予防接種料なども参加青年本人の負担となります。金額は概算であり、事業終了後清算いたします。  
 ※ 防回国、日程等については、随時事情により変更になることがあります。

## <応募から事業参加までの流れ>



※上記5事業の他、例年実施している「日本・中国青年親善交流」については、現在調整中です。具体的な日程等が決まりましたら、内閣府HPへの掲載等により、参加者の募集をいたします。  
 ※事業内容や応募方法の詳細については、内閣府HP「事業概要及び応募要領」をご確認ください。

《http://www.cao.go.jp/koryu》

## 平成 26 年度（2014）出雲市総合防災訓練における 学生の演習参加（ボランティア）について

### 1. 目的・理由

#### 1) 訓練テーマ

豪雨災害および地震災害に対する各防災関係機関の連携による災害対応と住民の避難対応

#### 2) 訓練の概要

豪雨に伴う水害と土砂災害、地震による家屋の倒壊、交通・通信の遮断、集落の孤立を想定した訓練

#### 3) 本学学生の参加の目的

- ・ 出雲市による演習協力の依頼があり、学生の主体的な申し出にて参加する。
- ・ 出雲市の一住民の立場から、地域の特性（水害）を意識した防災訓練への参加により、自身の防災意識を高めることができる。
- ・ 将来看護職者になる学生にとって、組織的な防災への取り組みを学ぶ機会となる。
- ・ 傷病者役になることで、直に救助されたりトリアージされたりする体験による学びから、災害看護・救急看護における理解を深める。
- ・ 学生が主体的に防災に関する企画を出展することにより、災害時の支援について具体的な学びを得ることができる。

2. 日時 平成 26 年 9 月 1 日（月）9:00～12:45

3. 場所・会場 佐田地域「飯の原農村公園 吉栗の郷」（メイン会場）  
693-0522 出雲市佐田町・窪田657

4. 主催者 出雲市防災会議

### 5. 参加団体

陸上自衛隊、松江地方気象台、国土交通省出雲河川事務所、日本赤十字社島根県支部、島根大学医学部、島根県立中央病院、島根県警察本部、島根県防災航空隊、出雲市消防本部、NTT、アルファー食品、ボランティアセンター、島根県立大学、中学校、小学校、幼稚園、その他多数



## 6. 内容・対象

被災地上訓練、被災地上訓練、交通規制等、避難誘導、要支援者避難訓練、救出救護活動、消火活動、復旧活動、炊き出し訓練、物資の供給搬送、避難所運営、防災機器展示、体験・見学などが行われます。また、今回の訓練の特徴として、地域をあげて「シェイクアウト訓練」「特別警報発令」による訓練、林野火災の想定による消化活動訓練などが、今回初の試みで行われるそうです。

<学生が参加する内容>

「救出・救助訓練」における傷病者役、学生企画の防災に関する展示

## 7. 出席者・参加人数

本学学生 専攻科5名、看護学科3年次生4名、2年次生1名 合計10名

## 8. これまでの経緯や今回の特徴など

これまでも学生が出雲市の総合防災訓練に参加してきた経緯があり、学生の意識も高いです。学生にとっても貴重な経験となるので、今後も積極的に参加していきたいと思っています。

平成 26 年 8 月 8 日  
島根県立大学 浜田キャンパス  
担当：地域連携課 竹口・河部・榎野  
電 話：0855-24-2396

## 平成 25 年度 地(知)の拠点整備事業成果報告書について

本学は、平成 25 年度に文部科学省補助事業「地(知)の拠点整備事業」の採択を受けました。事業初年度である平成 25 年度は、実質 6 ヶ月という短い事業期間でしたが、昨年 10 月にキックオフミーティングを開催し本事業の開始を宣言し、平成 26 年 2 月には地域主体と大学とで構成し事業実施の中心となる「縁結びプラットフォーム運営委員会」を設立して、事業の推進体制を整えました。また、平成 25 年度事業として取り組んだ研究活動の成果を報告する「全域フォーラム」を同じく 2 月に開催し、有識者や関係者と意見交換を行いました。

この度、前述の活動を含め、平成 25 年度の活動成果について、別添のように成果報告書に取りまとめました。

なお、本報告書は大学公式ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.u-shimane.ac.jp/effort/community/coc/0001.html>



平成26年8月8日  
 島根県立大学浜田キャンパス  
 担当：アドミッション室 的場  
 電話：0855-24-2203

## 平成26年度秋学期科目等履修生・聴講生の募集について（浜田キャンパス）

平成26年度秋学期の科目等履修生及び聴講生を募集します。  
 科目等履修生は、一般の学生と同じ講義を受講し、試験に合格すると単位を取得できる制度です。  
 聴講生は、一般の学生と同じ講義を受講することができ、単位認定の必要がない方や教養を深めたい方に適した制度です。

科目等履修生・聴講生の方は、受講したい科目を1つ又は複数選ぶことができ、パートタイムで学習できます。

1. 受講期間 平成26年10月1日（水）～平成27年2月27日（金）
2. 受講できる科目数 1人5科目まで
3. 募集人員 【科目等履修生】各科目とも5名程度 【聴講生】各科目とも10名程度
4. 応募資格 高等学校を卒業した者、又は高等学校卒業程度の学力を有する者
5. 出願期間 平成26年8月15日（金）～平成26年8月22日（金）必着
6. 入学検定料 【科目等履修生】9,800円 【聴講生】なし
7. 応募方法 募集案内をお取り寄せのうえ、出願方法に従い応募してください。  
 （お問い合わせ先）  
 〒697-0016 島根県浜田市野原町2433番地2  
 島根県立大学事務局アドミッション室 TEL 0855-24-2203

※募集案内は本学ホームページからも取得可能です。

お知らせ「平成26年度後期科目等履修生・聴講生の募集について」からお入りください。

URL：<http://hamada.u-shimane.ac.jp/>

## 8. 過去の科目等履修生・聴講生の入学状況

		科目等履修生	聴講生
平成26年度	春学期	0	5
	秋学期		
平成25年度	春学期	0	7
	秋学期	0	3
平成24年度	春学期	0	5
	秋学期	0	3

平成26年8月8日  
島根県立大学出雲キャンパス  
担当：教務学生課 矢富  
電話：0853-20-0215

## 平成26年度秋学期・後期科目等履修生の募集について（出雲キャンパス）

平成26年度秋学期・後期の科目等履修生を募集します。

科目等履修生とは、一般の学生と同じ授業科目を学生と一緒に受講し、その受講した科目の期末試験に合格すると単位が取得できる制度です。受講したい科目は、1つ又は複数選ぶことができ、パートタイムで学習できます。

1. 受講期間 【看護学部看護学科】平成26年10月1日（水）～平成27年2月20日（金）  
【短期大学部専攻科】平成26年10月1日（水）～平成27年1月23日（金）

2. 募集人員 看護学部看護学科、短期大学部専攻科ともに若干名

3. 応募資格 次のいずれかに該当するもの。

### 【看護学部看護学科】

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- (4) 外国において学校教育における12年の課程を卒業（修了）した者で、財団法人日本国際教育支援協会の日本語能力試験（4級以上）に合格したもの

### 【短期大学部専攻科】

- (1) 看護師免許を有する者及び看護師国家試験受験資格を有する者。
- (2) 外国において学校教育における15年の課程（最終の課程が看護に関するものであること）を修了した者。ただし、日本国籍を有しない者については、財団法人日本国際教育支援協会の日本語能力試験（4級以上）に合格した者。

4. 出願期間 平成26年9月1日（月）～平成26年9月5日（金）消印有効

5. 入学検定料 9,800円

6. 応募方法 募集案内【8月20日（水）～配布予定】をお取り寄せのうえ、出願方法に従い応募してください。

（お問い合わせ先） 〒693-8550 島根県出雲市西林木町151  
島根県立大学 出雲キャンパス 教務学生課  
TEL：0853-20-0215 FAX：0853-20-0201

## 7. 過去の科目等履修生の入学状況

		科目等履修生
平成26年度	春学期・前期	1
	秋学期・後期	
平成25年度	春学期・前期	0
	秋学期・後期	0
平成24年度	春学期・前期	0
	秋学期・後期	0

## 平成26年度後期科目等履修生・聴講生の募集について（松江キャンパス）

平成26年度後期科目等履修生及び聴講生を以下のとおり募集します。

科目等履修生は、一般の学生と同じ講義を受講し、履修科目の試験に合格すると単位を取得できる制度です。

聴講生は、一般の学生と同じ講義を受講することができ、単位認定の必要がない方や教養を深めたい方に適した制度です。

科目等履修生・聴講生の方は、受講したい科目を1つ又は複数選ぶことができ、パートタイムで学習できます。

1. 受講期間 平成26年10月1日（水）～平成27年3月31日（火）
2. 募集人員 各科目若干名
3. 応募資格 次のいずれかに該当する者  
【科目等履修生】
  - (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
  - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
  - (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者【聴講生】
  - (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
  - (2) 高等学校卒業程度の学力を有する者
4. 出願期間 平成26年8月18日（月）～平成26年8月22日（金）必着
5. 入学検定料 科目等履修生…9,800円、聴講生…なし
6. 応募方法 募集案内をお取り寄せのうえ、出願方法に従い応募してください。

（お問い合わせ先）

〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2

島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課

TEL：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150 電子メール：[gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp](mailto:gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp)

※募集案内は本学ホームページからも取得可能です。

お知らせ「平成26年度後期科目等履修生・聴講生の募集について」からお入りください。

URL：<http://matsuec.u-shimane.ac.jp/>

### 7. 過去の科目等履修生・聴講生の入学状況

		科目等履修生	聴講生
平成26年度	前期	0	4
	後期		
平成25年度	前期	1	0
	後期	3	0
平成24年度	前期	0	0
	後期	0	3



平成 26 年 8 月 8 日  
 島根県立大学 浜田キャンパス  
 担当：国際交流課 佐草  
 電話：0855-25-9063

## 寧夏大学外国語学院日本語学科訪問団の来学について

本学と、交流協定を締結している、中国の寧夏（ねいか）大学外国語学院日本語学科訪問団（学生 14 名・引率 1 名）が来学し、学長表敬と学生交流を行います。

本学訪問は、昨年につき平成 17（2005）年以来通算 9 回目（島根県への訪問は、平成 10（1998）年以来通算 12 回目）となります。

25 日（月）、昼頃本学に到着し、学長表敬、浜田市長表敬、本学学生とともに浜田市内の観光地を散策したり、食事をしたりしながら交流を深める予定です。

### 記

1. 訪問日 平成 26 年 8 月 25 日（月）～27 日（水）
2. 訪問団・訪問日程 別紙のとおり

### 寧夏大学の概要

- 寧夏回族自治区に位置する、国家重点大学の一つ。
- 創立年：1958 年
- 学生数：約 30,000 名
- 学部数：23 学部（人文、政治法律学、外国語学、経済管理学、化学、生命科学、農学、教育科学等）

本学とは、平成 16（2004）年 10 月に交流協定を締結。2002 年から毎年の寧夏回族自治区出身学生（多くは寧夏大学出身者）を受け入れ、現在 7 名が在籍（学部生 3 名・大学院生 4 名）している。

## 寧夏大学外国語学院日本語学科 訪問団名簿

姓名	フリガナ	性別	所属	備考
張 玲	チョウ レイ	女	寧夏大学外国語学院	副院長(引率者)
梁 瑞	リョウ ズイ	女	寧夏大学外国語学院 日本語学科 3年生	学生
楊 文菊	ヨウ ブンギク	女	"	"
王 佳欢	オウ カカン	女	"	"
高 静雯	コウ セイブン	女	"	"
蘇 雪雯	ソ セツブン	女	"	"
周 欢	シュウ カン	女	"	"
呂 晶	ロ ショウ	女	"	"
賈 瑾	カ キン	女	"	"
王 雪梅	オウ セツバイ	女	"	"
馬 琴	マ キン	女	"	"
蘇 小雪	ソ ショウセツ	女	"	"
馬 曉媛	マ ギョウエン	女	"	"
楊 佩琳	ヨウ ハイリン	女	"	"
王 蘇芳	オウ ソホウ	女	"	"

## 全体日程概要

月 日	曜日	時間	行動予定	宿泊予定先
8月21日	木	午後	岡山空港 着	島根青少年館(松江市)
8月22日	金	午前 午後	島根大学表敬訪問・学生交流	ホストファミリー宅
8月23日	土	終日	ホームステイ	ホストファミリー宅
8月24日	日	終日	ホームステイ	ホストファミリー宅
8月25日	月	午前 午後	(移動:松江市⇒浜田市) 島根県立大学着 浜田市表敬訪問 歓迎会	県立大学交流センター(浜田市)
8月26日	火	午前 午後	学生交流 島根県立大学学長表敬 波子海岸散策	県立大学交流センター(浜田市)
8月27日	水	午前 午後	島根県庁表敬訪問 松江市長表敬訪問・視察	島根青少年館(松江市)
8月28日	木	午前	(移動:松江市⇒岡山県) 岡山空港 発	

平成 26 年 8 月 8 日  
 島根県立大学浜田キャンパス  
 担当：アドミッション室 的場  
 電話：0855-24-2203

## 平成 27 年度総合政策学部入学者選抜自己推薦入試(総合評価型)の実施について

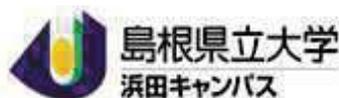
本学では平成 27 年度入学者選抜より、従前のAO入試、全国一般推薦入試、県内一般推薦入試を統合した自己推薦入試(総合評価型)を以下のとおり実施します。

1. 募集人員 75人
2. 出願資格 次の各号を全て満たす者とします
  - (1) 平成 25 年 3 月から平成 27 年 3 月まで高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者、または、同期間に通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び修了見込みの者
  - (2) 合格した場合には必ず入学することを確約できる者
  - (3) 学業成績の全体評定平均値が 3.5 以上の者
3. 選抜方法 総合課題、面接試験及び大学入試センター試験と提出された書類(志願理由書、出身学校の調査書)により、能力・適性、学習意欲、目的意識、表現力等を総合的に評価し、判定します。  
 まず募集人員の 45 人を島根県内の高等学校等からの受験者から成績順に選抜し、次に募集人員の 30 人を島根県外の高等学校等からの受験者及び 45 人の選抜枠に入らなかった島根県内の高等学校等からの受験者から成績順に選抜します。
4. 試験会場 島根県立大学浜田キャンパス(島根県浜田市野原町 2 4 3 3-2)
5. 試験日程等

項目	日程
出願期間	平成 26 年 8 月 28 日(木)～平成 26 年 9 月 3 日(水)
総合課題	平成 26 年 9 月 14 日(日)
面接試験	平成 26 年 10 月 18 日(土)～平成 26 年 10 月 19 日(日)の内、指定した日
大学入試センター試験	平成 27 年 1 月 17 日(土)～平成 27 年 1 月 18 日(日)
合格発表	平成 27 年 2 月 11 日(水)
入学手続期間	平成 27 年 2 月 12 日(木)～平成 27 年 2 月 18 日(水)

※学生募集要項は本学公式ホームページから請求できます。

URL : <http://hamada.u-shimane.ac.jp/admission/request/>



【参考】平成27年度入学者選抜方法の概要

選抜区分 内容		自己推薦入試(総合評価型) [募集人員75名] (県内枠45名残り30名成績順)	一般選抜(前期)[募集人員120名]		一般選抜(後期)[募集人員25名]
			前期3教科型[80名] 大学入試センター試験3教科 +個別学力試験	前期5教科型[40名] 大学入試センター試験5教科 +個別学力試験	
試験内容	大学入試センター試験	3教科-3科目 [配点]300点 国、英・・・必須 地歴・公民、数、理・・・1科目選択	3教科-3科目 [配点]300点(a) 国、英・・・必須 地歴・公民、数、理・・・1科目選択	5教科-5科目 [配点]500点(c) 国、英・・・必須 地歴、公民、数、理・・・3科目選択	2教科-2科目 [配点]200点 英・・・必須 国、数、理 地歴・公民 } 1科目選択
	個別学力試験等	総合課題 [配点]300点 面接試験 [配点]400点	【受験する場合】 [配点]200点(b) 国語 英語 数学 世界史 日本史 から1科目選択  【受験しない場合】 センター試験の成績のみで評価 配点なし		個別面接 [配点]100点
	その他	○大学入試センター試験 ・選択科目において、2科目以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に利用する。  ※なお、地理歴史及び公民並びに理科のち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、平成27年度入学者選抜要項を参照。  ○総合課題 ・模擬講義を実施 ・講義内容の再現能力、即応力、応用展開力をみる社会科学系の総合課題を実施  ○面接試験 ・出願書類に基づき、本人の能力・適正、学習意欲、目的意識、表現力等を評価する面接により総合的に判定(約25分程度)。	○大学入試センター試験 ・選択科目において、前期3教科型においては2科目以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に利用。5教科型においては4科目以上受験した場合は、高得点の3科目を合否判定に利用する。  ※なお、地理歴史及び公民、並びに理科のち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、平成27年度入学者選抜要項を参照。  ○個別学力試験 ①前期3教科型 aとbとの合計を300点満点に換算した点 $[(a+b) \times 3/5]$ とaを比較し、高い方を利用する。 ②前期5教科型 cとbの合計を500点満点に換算した点 $[(c+b) \times 5/7]$ とcを比較し、高い方を利用する。		○大学入試センター試験 ・選択科目において、2科目以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に利用する。  ※なお、地理歴史及び公民、並びに理科のち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、平成27年度入学者選抜要項を参照。
実施スケジュール	出願期間	平成26年8月28日(木)～ 平成26年9月3日(水)	平成27年1月26日(月)～ 平成27年2月4日(水)		平成27年1月26日(月)～ 平成27年2月4日(水)
	試験日	<総合課題> 平成26年9月14日(日)  <面接試験> 平成26年10月18日(土)～平成26年10月19日(日)の内、指定した日	平成27年2月25日(水)		平成27年3月12日(木) (第①、第②グループ) または 3月13日(金) (第③、第④グループ)  ※志願者に対しては、受験票送付時に12日、13日のいずれの日に個別面接を実施するか、及び第①～第④のいずれのグループに属するかを指定します。
	合格発表	平成27年2月11日(水)	平成27年3月5日(木)		平成27年3月20日(金)
	入学手続期間	平成27年2月12日(木)～ 平成27年2月18日(水)	平成27年3月6日(金)～ 平成27年3月13日(金)		平成27年3月23日(月)～ 平成27年3月27日(金)

平成 26 年 8 月 8 日  
 島根県立大学 浜田キャンパス  
 担当：教務学生課 高田、笹井  
 電話：0855-24-2213

## 平成 27 年度大学院入学生の募集について

島根県立大学大学院北東アジア開発研究科（博士前期課程・後期課程）の平成 27 年入学生の募集を次のとおり行います。

### 募集定員（A 日程、B 日程あわせた定員）

- 博士前期課程（北東アジア専攻）5 名
- 博士前期課程（地域開発政策専攻）5 名
- 博士後期課程（北東アジア超域専攻）2 名

### 試験日程

#### 【A 日程】（博士前期課程のみ）

- 出願期間：平成 26 年 8 月 28 日（木）～平成 26 年 9 月 5 日（金）
- 選抜期日：平成 26 年 9 月 20 日（土）
- 合格発表：平成 26 年 10 月 10 日（金）

#### 【B 日程】（博士前期課程および博士後期課程）

- 出願期間：平成 27 年 1 月 8 日（木）～平成 27 年 1 月 16 日（金）
- 選抜期日：平成 27 年 1 月 31 日（土）～平成 27 年 2 月 1 日（日）
- 合格発表：平成 27 年 2 月 13 日（金）

### 試験科目

課程	募集区分	試験科目・方法等	
博士前期課程	一般選抜	外国語	英語・中国語・韓国語・ロシア語・モンゴル語から1科目 (いずれも辞書使用可)
		小論文	社会科学全般(辞書使用不可)
		面接	研究計画書等に関して行う
	社会人特別選抜	小論文	社会科学全般(辞書使用不可)
		面接	研究計画書等に関して行う
		面接	研究計画書等に関して行う
博士後期課程	一般選抜	外国語	英語・中国語・韓国語・ロシア語・モンゴル語から1科目 (いずれも辞書使用可)
		小論文	社会科学全般(辞書使用不可)
		面接	研究計画書等に関して行う

試験時間その他詳細については、募集要項をご覧ください。